

技術書典 2 提出原稿

日本 **Android** の会秋葉原支部ロボット部 著

2017-04-09 版 発行

目次

第 1 章	qiita2review の使い方	1
1.1	qiita2review とは	1
1.2	管理者がはじめにやること	2
1.3	執筆者がやること	2
	Qiita に記事を書く	2
	Qiita に記事が書けたら	2
1.4	原稿が集まったら	3

第 1 章

qiita2review の使い方

Re:VIEW を apache で動かす <http://qiita.com/nanbuwks/items/dd15819ec7798a9eca7b> で書いた、qiita から pdf を作るシステム。これを使う前提での Qiita の記事の書き方。



図 1.1 Screenshot from 2017-04-07 09-50-56.png

1.1 qiita2review とは

- Qiita で記事を執筆してもらって Re:VIEW で PDF にするオンラインシステム。
- グループ作業で技術情報をマルチ展開するために。
- Qiita だと学習コスト少、画像楽だし数式も使える。
- PDF 作ると同時にちゃんとした Web コンテンツを公開できる。

1.2 管理者がはじめにやること

サーバにインストール、認証設定、サーバアドレスの執筆者への周知。

1.3 執筆者がやること

Qiita に記事を書く

後々 PDF にするために、ちょっと気をつける点。

画像

画像はそのままだと 100% になり、紙媒体では大きすぎるが多い。縮小設定をしておく。通常の画像は

```
![ファイル名](images/.....8d78.jpeg)
```

のようになってますが

```
[] ( scale=0.5 )![ファイル名](https://qiita-image-store.s3.amazonaws.com/0/.....8d78.jpeg)
```

のように頭に `scale=0.5`) をつけると、Qiita では 100%, PDF にしたときには 50% サイズになります。

Re:VIEW の制限

PDF 化に使用している Re:VIEW 受け付けられない書式にならないように注意- コメントの入れ子- コードブロック開始前に改行を入れる

コードブロック開始前に改行がない場合、Markdown としてもヘンになることが多いので改行を入れる習慣をつけよう。

Qiita に記事が書けたら

PDF 化の確認をします。

qiita2review サーバページから、記事一覧が見えます。

画面下部の「Add new article title」のフォームに入力して送信すると新しい記事が登録できる。

(認証が必要)

Qiita の 1 記事ごとに PDF になる。別刷りのようなイメージ。

1.4 原稿が集まったら

本としての装丁は管理者が行います。1 記事になっているものはそれぞれ章にして、まとめて 1 冊としてレンダリング 印刷管理者のお仕事となります。今のところはサーバに ssh ログインして Re:VIEW を使って手作業です。

技術書典 2 提出原稿

2017 年 4 月 9 日 初版第 1 刷 発行

著 者 日本 Android の会秋葉原支部ロボット部
